

看護専門科目	臨床応用看護学					
看護学科	必修	1単位	実習	平成30年度	後期	3年次
科目名	精神看護学実習 I					
担当教員	◎高橋里沙 國井由加利 岡本響子					
目的	地域で生活する精神障がい者の生活の実際を知り、社会復帰していくために必要な社会資源や精神医療チーム連携について考え、地域で生活する精神障がい者を支援する際に必要な看護の役割や支援について理解する。					
目標	1) 対象者が地域で利用できる様々な社会資源について知る。 2) 精神医療におけるチーム連携と看護の役割について学ぶ。 3) 地域で生活する対象者の生活の実際を学ぶ。					
他科目との関連	心理学・臨床心理学・精神看護学概論・精神看護学実践論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・精神看護学実習Ⅱ					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	記録等	実習記録物				
	その他	記録物、実習指導者の意見、実習中の学習態度すべてを総合して実習目標の達成度を評価する				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書						
参考資料						
備考 (受講上注意、 事前学習等)						